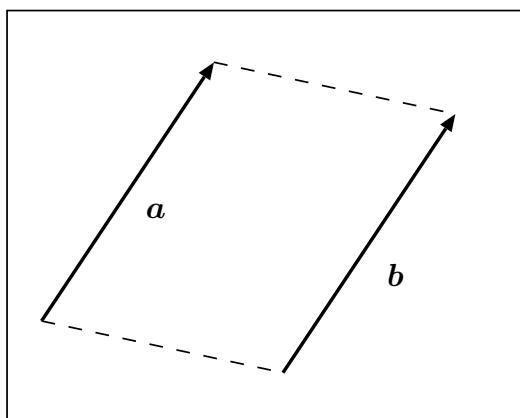
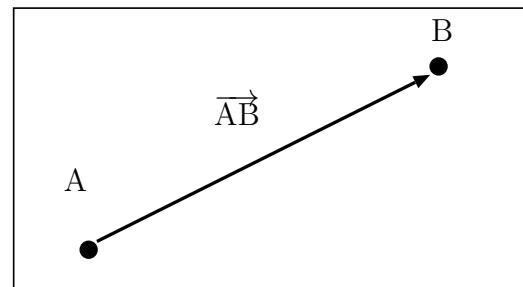


ベクトル (基礎数理 I(a) 講義資料)  
 (<http://takeno.iee.niit.ac.jp/%7Eshige/math/lecture/b1ensyu/hwsol/2017/vector1.pdf>)

## 1 ベクトルの定義

- 「ベクトル」とは“大きさ”と“向き”を合わせ持つ量。
- ベクトルの場所は無視する。すなわち、平行移動して重なるベクトル (向きと大きさが同じもの) は等しいと考える (図 1)。
- ベクトルの記号:
  - 1 文字の名前で表す場合、 $\vec{a}$ ,  $\vec{b}$ ,  $\vec{c}$ , … (上に矢印), あるいは、 $\mathbf{a}$ ,  $\mathbf{b}$ ,  $\mathbf{c}$ , … (太字)。
  - $\vec{AB}$  = 点 A から点 B へ向かうベクトル (図 2)

図 1:  $\mathbf{a} = \mathbf{b}$ 図 2:  $\vec{AB}$ 

問 1 中心 O の正六角形 ABCDEF に対して、次のベクトルに等しいベクトル (O,A,B,C,D,E,F のいずれか 2 点からなるベクトル) をすべて上げよ。 (1)  $\vec{OA}$  (2)  $\vec{AB}$

- $|\mathbf{a}|$  = ベクトルの大きさ (長さ)。
- 用語:
  - 単位ベクトル = 大きさが 1 のベクトル

- ゼロベクトル = 大きさが 0 のベクトル、 $\vec{0}$  や  $\mathbf{0}$  で表す。  
 $\overrightarrow{AA}$  もゼロベクトル。  
注意: ゼロベクトルに“向き”はないが、便宜的にベクトルと見なす。
- 点 P の位置ベクトル = 原点 O から P へ向かうベクトル  $\overrightarrow{OP}$
- スカラー = 実数。「ベクトル」の対義語(向きのない量)。
  - \*  $|\mathbf{a}|$ 、面積、体積、温度 = スカラー
  - \*  $\mathbf{a}$ 、力、速度、加速度 = ベクトル
- 平面ベクトル = 2 次元座標系 (xy) 内でのベクトル(2 次元ベクトル)
- 空間ベクトル = 3 次元座標系 (xyz) 内でのベクトル(3 次元ベクトル)

問 2 中心 O、一边の長さが 2 の正六角形 ABCDEF に対して、次の値を求めよ。 (1)  $|\overrightarrow{AB}|$  (2)  $|\overrightarrow{BD}|$  (3)  $|\overrightarrow{CF}|$

## 2 ベクトルの和、差、スカラー倍

- ベクトルの和  $\mathbf{a} + \mathbf{b}$  の定義(2通りある):

1.  $\mathbf{a} = \overrightarrow{AB}$ ,  $\mathbf{b} = \overrightarrow{BC}$  とするとき( $\mathbf{a}$  の終点と  $\mathbf{b}$  の始点を合わせる)、 $\mathbf{a} + \mathbf{b} = \overrightarrow{AC}$  とする(図 3)。
2.  $\mathbf{a} = \overrightarrow{AB}$ ,  $\mathbf{b} = \overrightarrow{AC}$  とし( $\mathbf{a}$  と  $\mathbf{b}$  の始点を合わせる)、ABDC が平行四辺形になるように D を取るとき、 $\mathbf{a} + \mathbf{b} = \overrightarrow{AD}$  とする(図 4)。

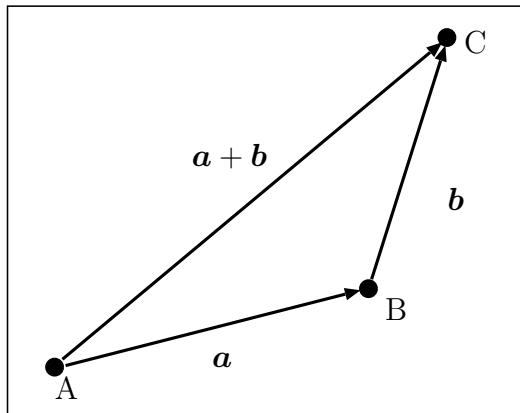


図 3: ベクトルの和 1.

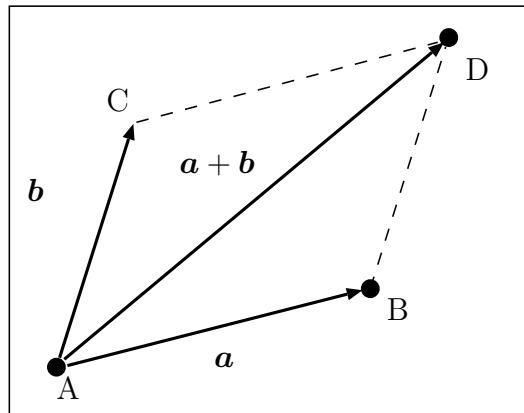


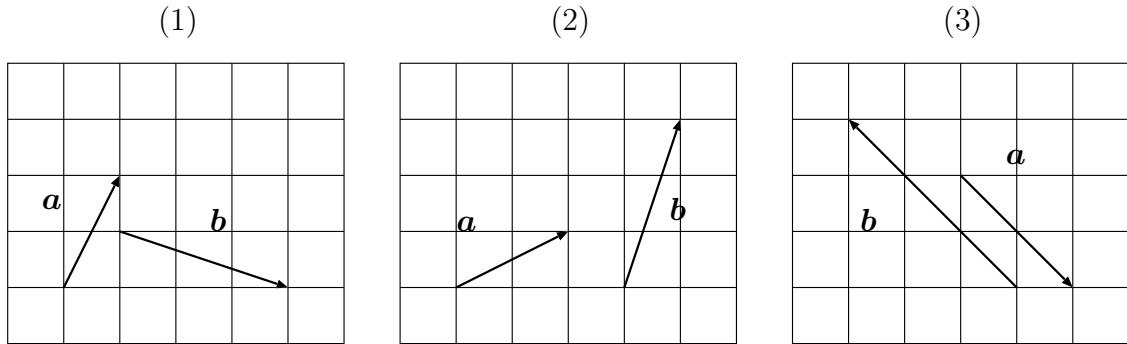
図 4: ベクトルの和 2.

- ベクトルの和の性質

1.  $\mathbf{a} + \mathbf{b} = \mathbf{b} + \mathbf{a}$
2.  $(\mathbf{a} + \mathbf{b}) + \mathbf{c} = \mathbf{a} + (\mathbf{b} + \mathbf{c})$

3.  $\mathbf{a} + \mathbf{0} = \mathbf{a}$
4.  $\mathbf{a} + (-\mathbf{a}) = \mathbf{0}$  ( $-\mathbf{a}$  は  $\mathbf{a}$  と同じ大きさで向きが逆のベクトル)
5.  $\overrightarrow{AB} + \overrightarrow{BC} = \overrightarrow{AC}$

問 3 以下の図に対して、 $\mathbf{a} + \mathbf{b}$  を図で示せ。



問 4  $\overrightarrow{AB} + \overrightarrow{BC} + \overrightarrow{CA} = \mathbf{0}$  となることを示せ。

問 5 上の和の性質 2. が成り立つことを図を用いて説明せよ。

- ベクトルの差の定義:  $\mathbf{a} - \mathbf{b} = \mathbf{a} + (-\mathbf{b})$  (図 5)、 $\overrightarrow{AB} = \overrightarrow{CB} - \overrightarrow{CA}$

問 6 問 3 の  $\mathbf{a}, \mathbf{b}$  に対して、 $\mathbf{a} - \mathbf{b}$  を図で示せ。

- ベクトルのスカラー倍  $k\mathbf{a}$  の定義 ( $k$  は実数): (図 6)
  - $k > 0$  のときは、 $\mathbf{a}$  と向きが同じで、大きさが  $|\mathbf{a}|$  の  $k$  倍のベクトル。
  - $k < 0$  のときは、 $\mathbf{a}$  と向きが逆で、大きさが  $|\mathbf{a}|$  の  $|k|$  倍のベクトル。
  - $k = 0$  のときは、 $\mathbf{0}$ 。

- ベクトルのスカラー倍の性質

1.  $k(\mathbf{a} + \mathbf{b}) = k\mathbf{a} + k\mathbf{b}$
2.  $(k + \ell)\mathbf{a} = k\mathbf{a} + \ell\mathbf{a}$
3.  $k(\ell\mathbf{a}) = (k\ell)\mathbf{a}$
4.  $1\mathbf{a} = \mathbf{a}, (-1)\mathbf{a} = -\mathbf{a}$

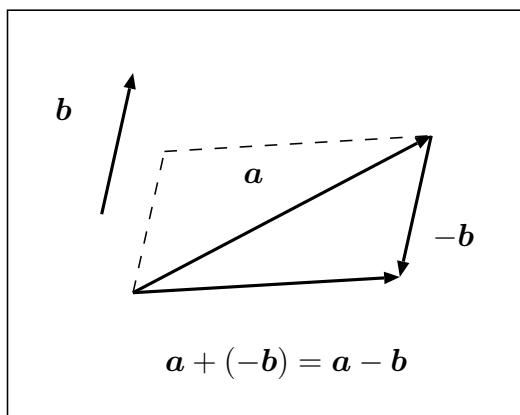


図 5: ベクトルの差

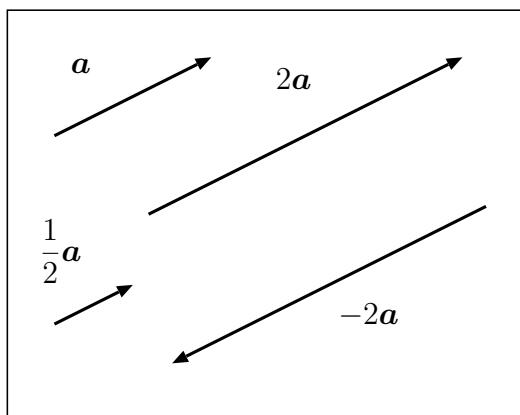


図 6: ベクトルのスカラー倍

問 7 次の式を展開せよ。  $3(\mathbf{a} + 2\mathbf{b}) - 4(\mathbf{b} - 3\mathbf{a})$

問 8 問 3 の  $\mathbf{a}, \mathbf{b}$  に対して、 $\frac{1}{2}\mathbf{a} - \frac{1}{3}\mathbf{b}$  を図で示せ。

- スカラー倍の応用

- $\mathbf{a} \neq \mathbf{0}, \mathbf{b} \neq \mathbf{0}$  のとき、 $\mathbf{a} \parallel \mathbf{b} \iff \mathbf{b} = k\mathbf{a}$  となる  $k$  があること
- $\mathbf{a} \neq \mathbf{0}$  のとき、 $\mathbf{a}$  と同じ方向の単位ベクトル  $\mathbf{b}$  は、 $\mathbf{b} = \frac{1}{|\mathbf{a}|}\mathbf{a}$ 、  
 $\mathbf{a}$  と平行な単位ベクトル  $\mathbf{c}$  は、 $\mathbf{c} = \pm \frac{1}{|\mathbf{a}|}\mathbf{a}$
- 平行でない 2 つの平面ベクトル  $\mathbf{a}, \mathbf{b}$  を使えば、その平面のベクトルはすべて  $s\mathbf{a} + t\mathbf{b}$  の形に表される ( $s, t$  はスカラー)。
- 1 つの平面上にない 3 つの空間ベクトル  $\mathbf{a}, \mathbf{b}, \mathbf{c}$  を使えば、空間ベクトルはすべて  $s\mathbf{a} + t\mathbf{b} + u\mathbf{c}$  の形に表される ( $s, t, u$  はスカラー)。

問 9 中心 O の正六角形 ABCDEF に対して、 $\mathbf{a} = \overrightarrow{AB}, \mathbf{b} = \overrightarrow{AF}$  とするとき、次のベクトルを  $s\mathbf{a} + t\mathbf{b}$  ( $s, t$  はスカラー) の形に表せ。

- (1)  $\overrightarrow{AO}$  (2)  $\overrightarrow{AC}$  (3)  $\overrightarrow{BD}$

### 3 ベクトルの成分

- ベクトルの成分: ベクトルを数値で表現する仕組み。
- 用語:

- 基本ベクトル = 軸方向の単位ベクトル (大きさが 1) (図 7, 8)
  - 2 次元の基本ベクトルは 2 つ:  $\mathbf{e}_1$  ( $x$  軸方向),  $\mathbf{e}_2$  ( $y$  軸方向)
  - 3 次元の基本ベクトルは 3 つ:  $\mathbf{e}_1$  ( $x$  軸方向),  $\mathbf{e}_2$  ( $y$  軸方向),  $\mathbf{e}_3$  ( $z$  軸方向)
  - 注意: 3 次元基本ベクトルは、物理や工学では  $\mathbf{i}, \mathbf{j}, \mathbf{k}$  と書くことが多い。

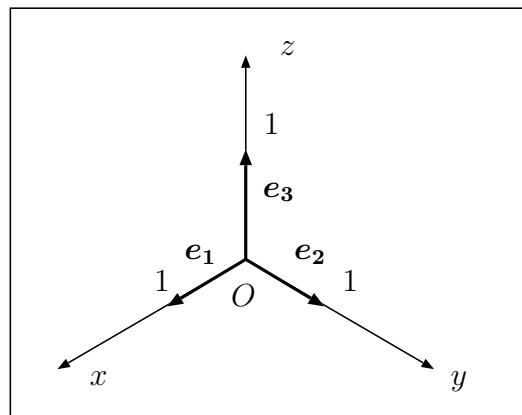
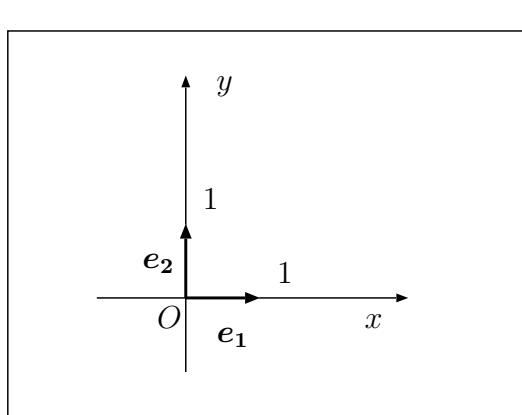


図 7: 基本ベクトル (平面ベクトル)

図 8: 基本ベクトル (空間ベクトル)

- 定義: ベクトル  $\mathbf{a}$  の成分 = 「 $\mathbf{a} = \overrightarrow{OA}$  となる点 A の座標」 (図 9)

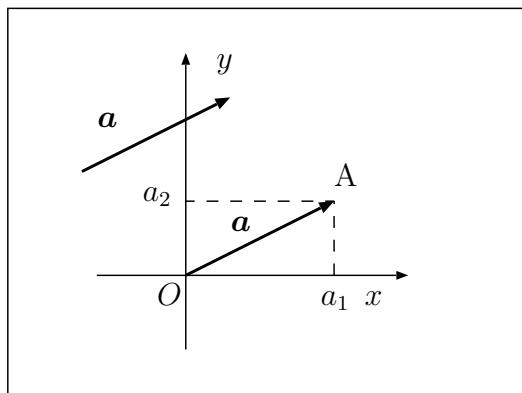


図 9: ベクトルと成分

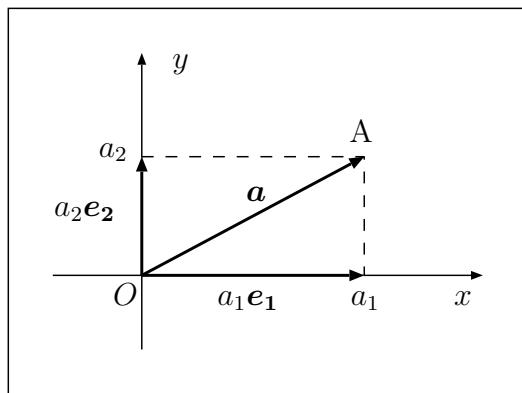


図 10: 基本ベクトル表現

- 書き方:

- 平面ベクトル:  $A(a_1, a_2)$  のとき、 $\mathbf{a} = (a_1, a_2)$  と書く。
- 空間ベクトル:  $A(a_1, a_2, a_3)$  のとき、 $\mathbf{a} = (a_1, a_2, a_3)$  と書く。
- 注意:  $\begin{pmatrix} a_1 \\ a_2 \end{pmatrix}$ ,  $\begin{pmatrix} a_1 \\ a_2 \\ a_3 \end{pmatrix}$  のように縦に書く本もある。

- $a_1$  を  $x$  成分、 $a_2$  を  $y$  成分 (3 次元の場合  $a_3$  を  $z$  成分) と呼ぶ。

- 基本ベクトルの成分

- 平面ベクトル:  $\mathbf{e}_1 = (1, 0)$ ,  $\mathbf{e}_2 = (0, 1)$
- 空間ベクトル:  $\mathbf{e}_1 = (1, 0, 0)$ ,  $\mathbf{e}_2 = (0, 1, 0)$ ,  $\mathbf{e}_3 = (0, 0, 1)$

問 10 次の成分を持つベクトルを  $xy$  平面上に図示せよ。

$$(1) \mathbf{a} = (1, -3) \quad (2) \mathbf{b} = \left(0, -\frac{3}{2}\right) \quad (3) \mathbf{c} = (4 - 6, 3 + 2)$$

問 11 間 3 の格子の一マスが  $1 \times 1$  のサイズであるとき、 $\mathbf{a}, \mathbf{b}$  をそれぞれ成分で表せ。

• 成分表現と基本ベクトル表現 (図 10)

- 平面ベクトル:  $\mathbf{a} = (a_1, a_2) \iff \mathbf{a} = a_1 \mathbf{e}_1 + a_2 \mathbf{e}_2$
- 空間ベクトル:  $\mathbf{a} = (a_1, a_2, a_3) \iff \mathbf{a} = a_1 \mathbf{e}_1 + a_2 \mathbf{e}_2 + a_3 \mathbf{e}_3$

• 成分による計算

- 平面ベクトルの場合 ( $\mathbf{a} = (a_1, a_2), \mathbf{b} = (b_1, b_2)$ )
  - \*  $\mathbf{a} = \mathbf{b} \iff a_1 = b_1 \wedge a_2 = b_2$
  - \*  $|\mathbf{a}| = \sqrt{a_1^2 + a_2^2}$
  - \*  $\mathbf{a} = \mathbf{0} \iff a_1 = a_2 = 0$
  - \*  $\mathbf{a} + \mathbf{b} = (a_1 + b_1, a_2 + b_2), \mathbf{a} - \mathbf{b} = (a_1 - b_1, a_2 - b_2)$
  - \*  $c\mathbf{a} = (ca_1, ca_2)$
  - \* A( $a_1, a_2$ ), B( $b_1, b_2$ ) のとき、 $\overrightarrow{AB} = (b_1 - a_1, b_2 - a_2)$
- 空間ベクトルの場合 ( $\mathbf{a} = (a_1, a_2, a_3), \mathbf{b} = (b_1, b_2, b_3)$ )
  - \*  $\mathbf{a} = \mathbf{b} \iff a_1 = b_1 \wedge a_2 = b_2 \wedge a_3 = b_3$
  - \*  $|\mathbf{a}| = \sqrt{a_1^2 + a_2^2 + a_3^2}$
  - \*  $\mathbf{a} = \mathbf{0} \iff a_1 = a_2 = a_3 = 0$
  - \*  $\mathbf{a} + \mathbf{b} = (a_1 + b_1, a_2 + b_2, a_3 + b_3), \mathbf{a} - \mathbf{b} = (a_1 - b_1, a_2 - b_2, a_3 - b_3)$
  - \*  $c\mathbf{a} = (ca_1, ca_2, ca_3)$
  - \* A( $a_1, a_2, a_3$ ), B( $b_1, b_2, b_3$ ) のとき、 $\overrightarrow{AB} = (b_1 - a_1, b_2 - a_2, b_3 - a_3)$

問 12 2 点 A( $-1, 3$ ), B( $2, 5$ ) に対して、次のものを求めよ (スカラーが成分で表す)。 (1)  $\overrightarrow{AB}$  (2)  $3\overrightarrow{BA}$  (3)  $|-5\overrightarrow{AB}|$

問 13 ベクトル  $\mathbf{a} = (3, 1, -2), \mathbf{b} = (0, -3, 5)$  に対して、次のものを求めよ。 (1)  $4\mathbf{b} - 2\mathbf{a}$  (2)  $3(\mathbf{a} - \mathbf{b}) - (2\mathbf{b} - 4\mathbf{a})$  (3)  $|\mathbf{a} - \mathbf{b}|$

問 14 ベクトル  $\mathbf{a} = (2, -1), \mathbf{b} = (1, 3)$  に対して、次のベクトルを  $s\mathbf{a} + t\mathbf{b}$  ( $s, t$  はスカラー) の形に表せ。 (1)  $\mathbf{c} = (3, 2)$  (2)  $\mathbf{d} = (4, 0)$

問 15 A( $4, 3, -2$ ), B( $-5, 2, 3$ ), C( $1, -1, 0$ ) で  $\overrightarrow{AB} = \overrightarrow{CD}$  のとき、点 D の座標を求めよ。

問 16  $\mathbf{a} = (4, 3), \mathbf{b} = (-6, x)$  のとき、(1)  $\mathbf{a} \parallel \mathbf{b}$  となるような  $x$  の値を求めよ。 (2)  $\mathbf{a}$  と同じ向きの単位ベクトル  $\mathbf{c}$  を求めよ。

## 4 ベクトルの内積

- 内積の定義:  $\mathbf{a} \neq \mathbf{0}, \mathbf{b} \neq \mathbf{0}$  のとき、  
 $\mathbf{a} \cdot \mathbf{b} = \mathbf{a}$  と  $\mathbf{b}$  の内積 (または スカラー積)  $= |\mathbf{a}||\mathbf{b}| \cos \theta$  (スカラー値)  
 $(\theta$  は  $\mathbf{a}$  と  $\mathbf{b}$  のなす角、 $0 \leq \theta \leq \pi$ )  
 ただし、 $\mathbf{a} = \mathbf{0}$  または  $\mathbf{b} = \mathbf{0}$  のときは ( $\theta$  が決まらないが)、 $\mathbf{a} \cdot \mathbf{b} = 0$  とする。

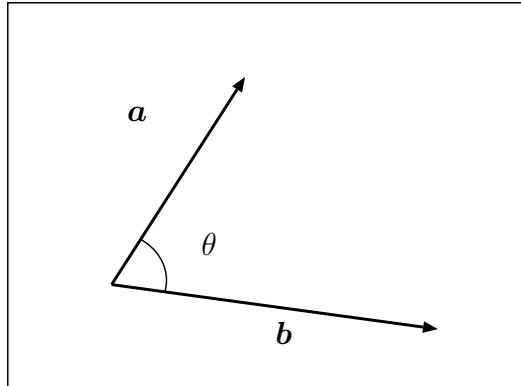


図 11: ベクトルの内積

- $\mathbf{a} \cdot \mathbf{b}$  を、 $(\mathbf{a}, \mathbf{b})$  や  $\langle \mathbf{a}, \mathbf{b} \rangle$  と書く流儀もある。

問 17 中心 O、一辺の長さが 2 の正六角形 ABCDEF に対して、次の値を求めよ。 (1)  $\overrightarrow{AB} \cdot \overrightarrow{AD}$  (2)  $\overrightarrow{AB} \cdot \overrightarrow{AF}$  (3)  $\overrightarrow{AB} \cdot \overrightarrow{AC}$

- 内積の成分計算式:
  - 平面ベクトル:  $\mathbf{a} = (a_1, a_2), \mathbf{b} = (b_1, b_2)$  のとき、 $\mathbf{a} \cdot \mathbf{b} = a_1b_1 + a_2b_2$
  - 空間ベクトル:  $\mathbf{a} = (a_1, a_2, a_3), \mathbf{b} = (b_1, b_2, b_3)$  のとき、  

$$\mathbf{a} \cdot \mathbf{b} = a_1b_1 + a_2b_2 + a_3b_3$$
- 内積の性質
  - $\mathbf{a} \cdot \mathbf{a} = |\mathbf{a}|^2$
  - $\mathbf{b} \cdot \mathbf{a} = \mathbf{a} \cdot \mathbf{b}$
  - $\mathbf{a} \cdot (\mathbf{b} + \mathbf{c}) = \mathbf{a} \cdot \mathbf{b} + \mathbf{a} \cdot \mathbf{c}, \quad (\mathbf{a} + \mathbf{b}) \cdot \mathbf{c} = \mathbf{a} \cdot \mathbf{c} + \mathbf{b} \cdot \mathbf{c}$
  - $(k\mathbf{a}) \cdot \mathbf{b} = k(\mathbf{a} \cdot \mathbf{b}), \quad \mathbf{a} \cdot (k\mathbf{b}) = k(\mathbf{a} \cdot \mathbf{b})$
  - $\mathbf{a} \neq \mathbf{0}, \mathbf{b} \neq \mathbf{0}$  のとき、 $\mathbf{a} \perp \mathbf{b} \iff \mathbf{a} \cdot \mathbf{b} = 0$

問 18  $\mathbf{a} = (3, -2, 5), \mathbf{b} = (1, 4, -2)$  に対して、次の値を求めよ。  
(1)  $\mathbf{a} \cdot \mathbf{b}$  (2)  $\mathbf{b} \cdot (-3\mathbf{b})$  (3)  $(\mathbf{a} + 2\mathbf{b}) \cdot (\mathbf{a} - \mathbf{b})$

- 内積の応用

- なす角:  $\cos \theta = \frac{\mathbf{a} \cdot \mathbf{b}}{|\mathbf{a}| |\mathbf{b}|} = \frac{a_1 b_1 + a_2 b_2 + a_3 b_3}{\sqrt{a_1^2 + a_2^2 + a_3^2} \sqrt{b_1^2 + b_2^2 + b_3^2}}$
- 正射影:  $\mathbf{a}$  の  $\mathbf{b}$  方向への正射影  $\ell$  は、 $\ell = \frac{\mathbf{a} \cdot \mathbf{b}}{|\mathbf{b}|}$
- 内積の符号:  $\mathbf{a} \cdot \mathbf{b} > 0 \iff$  なす角が鋭角、 $\mathbf{a} \cdot \mathbf{b} < 0 \iff$  なす角が鈍角
- 展開:  $|\mathbf{a} + \mathbf{b}|^2 = (\mathbf{a} + \mathbf{b}) \cdot (\mathbf{a} + \mathbf{b}) = |\mathbf{a}|^2 + 2\mathbf{a} \cdot \mathbf{b} + |\mathbf{b}|^2$  等
- 基本ベクトルの内積:  $\mathbf{e}_i \cdot \mathbf{e}_j = 0$  ( $i \neq j$  のとき)、 $\mathbf{e}_i \cdot \mathbf{e}_j = 1$  ( $i = j$  のとき)
- ある物を力  $\mathbf{F}$  で P から Q まで移動したときの仕事量  $W$  は、 $W = \mathbf{F} \cdot \overrightarrow{PQ}$

問 19  $\mathbf{a} = (1, 3, -1)$ ,  $\mathbf{b} = (2, 4, -1)$  に対して、それらのなす角  $\theta$  の  $\cos \theta$  の値を求めよ。

問 20  $\mathbf{a} = (3, -2, 5)$ ,  $\mathbf{b} = (2, 4, -2)$ ,  $\mathbf{c} = (2, y, z)$  が、 $\mathbf{a} \perp \mathbf{c}$ かつ  $\mathbf{b} \perp \mathbf{c}$  であるとき、 $\mathbf{c}$  を求めよ。

問 21  $|\mathbf{a}| = \sqrt{5}$ ,  $|\mathbf{b}| = 3\sqrt{2}$ ,  $\mathbf{a} \cdot \mathbf{b} = -3$  のとき、 $|\mathbf{a} - 2\mathbf{b}|$  の値を求めよ。  
(ヒント:  $|\mathbf{a} - 2\mathbf{b}|^2 = (\mathbf{a} - 2\mathbf{b}) \cdot (\mathbf{a} - 2\mathbf{b})$  を展開)

問 22 東西方向に伸びるレールの上に乗っている重りを、力 5.0 [N] で北東方向に引いて、レール上を東 15 [m] 移動した。このとき重りにした仕事量  $W$  を求めよ。

## 5 平面の方程式

- 3 次元空間内の平面  $\alpha$  は、それに垂直な方向 (ベクトル  $\mathbf{n} = (a, b, c)$ ) と、平面上にある点 A( $x_0, y_0, z_0$ ) (いずれかひとつ) で決定する。  
点 P( $x, y, z$ ) が平面  $\alpha$  上にある  $\iff \overrightarrow{AP} \perp \mathbf{n} \iff \overrightarrow{AP} \cdot \mathbf{n} = 0$   
よって、平面  $\alpha$  の方程式は  $a(x - x_0) + b(y - y_0) + c(z - z_0) = 0$
- 一般に、 $x, y, z$  の一次式  $ax + by + cz + d = 0$  は、ベクトル  $\mathbf{n} = (a, b, c)$  に垂直な平面を表す。
- 点と平面の距離: 平面  $ax + by + cz + d = 0$  と点 B( $p, q, r$ ) との距離  $L$  は、  

$$L = \frac{|ap + bq + cr + d|}{\sqrt{a^2 + b^2 + c^2}}$$

問 23  $\mathbf{a} = (3, 1, -2)$  に垂直で、点  $B(1, 0, 4)$  を通る平面の方程式を求めよ。

問 24  $A(1, 1, 6)$ ,  $B(0, 1, 3)$ ,  $C(1, 3, 2)$  を通る平面の方程式を求めよ。

問 25 問 23 の平面と原点との距離を求めよ。

## 6 ベクトルの外積

- 外積は 3 次元空間ベクトルのみを考えるが、その座標軸は「右手系」であるとする。

右手系 =  $x$  軸、 $y$  軸、 $z$  軸の向きが、右手の親指、人差し指、中指で無理なく表せるもの

=  $x$  軸の方向から  $y$  軸の方向に右ねじを回すと、そのねじの進む方向が  $z$  軸の方向と同じになるもの (図 12, 13)

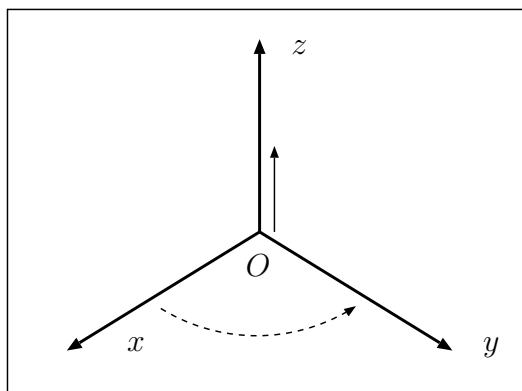


図 12: 右手系

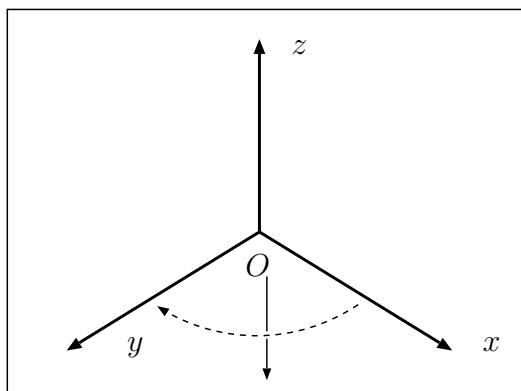


図 13: 左手系

- 外積の定義:  $\mathbf{a} \neq \mathbf{0}$ ,  $\mathbf{b} \neq \mathbf{0}$  で、 $\mathbf{a}$  と  $\mathbf{b}$  が平行でないとき、  
 $\mathbf{a} \times \mathbf{b} = \mathbf{a}$  と  $\mathbf{b}$  の外積 (またはベクトル積) は、次のような「ベクトル」とする。

- $\mathbf{a} \times \mathbf{b}$  の大きさ ( $|\mathbf{a} \times \mathbf{b}|$ ) =  $\mathbf{a}$  と  $\mathbf{b}$  が作る平行四辺形の面積  $S$
- $\mathbf{a} \times \mathbf{b}$  の方向 =  $\mathbf{a}$ ,  $\mathbf{b}$  の両方に垂直
- $\mathbf{a} \times \mathbf{b}$  の向き =  $\mathbf{a}$  から  $\mathbf{b}$  へ右ねじを回して進む向き ( $\mathbf{a}$ ,  $\mathbf{b}$ ,  $\mathbf{a} \times \mathbf{b}$  が右手系)

ただし、 $\mathbf{a} = \mathbf{0}$ ,  $\mathbf{b} = \mathbf{0}$ ,  $\mathbf{a} \parallel \mathbf{b}$  のいずれかであるときは、( $\mathbf{a}$ ,  $\mathbf{b}$  の両方に垂直な方向が決まらないが)、 $\mathbf{a} \times \mathbf{b} = \mathbf{0}$  とする。

- 注意: 実数 (スカラー) では  $a \cdot b$  と  $a \times b$  はどちらも単なる積 ( $ab$ ) と同じ意味だが、ベクトルでは、 $\mathbf{a} \cdot \mathbf{b}$  (内積) と  $\mathbf{a} \times \mathbf{b}$  (外積) は意味が異なる。正しく書き分けること。

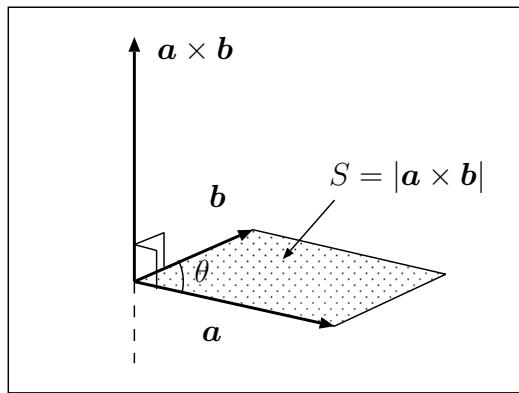


図 14: ベクトルの外積

- 基本ベクトルの外積:

$$\begin{aligned} e_1 \times e_2 &= e_3, & e_2 \times e_3 &= e_1, & e_3 \times e_1 &= e_2, \\ e_2 \times e_1 &= -e_3, & e_3 \times e_2 &= -e_1, & e_1 \times e_3 &= -e_2 \end{aligned}$$

問 26 外積の定義より、次の外積を求めよ。 (1)  $2e_1 \times e_2$  (2)  $(e_1 + e_2) \times e_1$

- 外積の成分計算式:  $\mathbf{a} = (a_1, a_2, a_3), \mathbf{b} = (b_1, b_2, b_3)$  のとき、  
 $\mathbf{a} \times \mathbf{b} = (a_2b_3 - a_3b_2, a_3b_1 - a_1b_3, a_1b_2 - a_2b_1)$

以下の図 15, 16 のように計算するとよい(図 16 は  $\mathbf{a} = (3, 4, 5)$ ,  $\mathbf{b} = (2, -1, 3)$  の場合に  $\mathbf{a} \times \mathbf{b} = (17, 1, -11)$  となる例)。

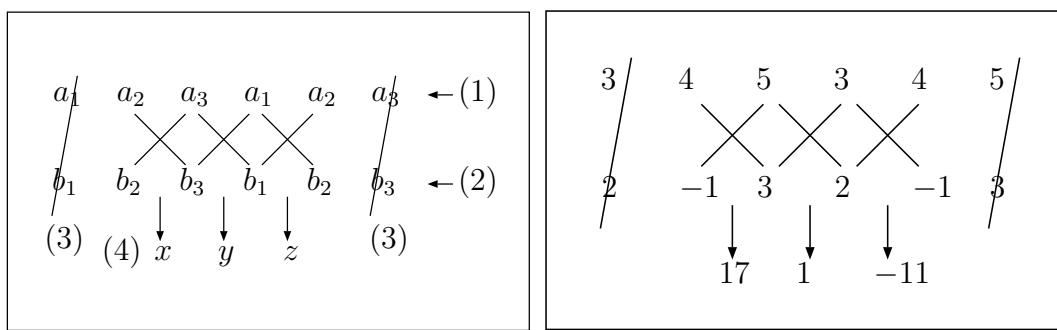


図 15: 外積の成分計算

図 16: 成分計算の例

- (1)  $\mathbf{a}$  の成分を 2 回書き並べ、
  - (2)  $\mathbf{b}$  の成分をその下に 2 回書き並べ、
  - (3) 両端を削り、
  - (4) 斜めにかけて引き算をすればそれが外積の各成分。
  - (5) その結果を  $\mathbf{a}, \mathbf{b}$  と内積して 0 となることを確認。  
( $\mathbf{a} \times \mathbf{b}$  は  $\mathbf{a}, \mathbf{b}$  に垂直) (図 16 の例の場合、 $51 + 4 - 55 = 0, 34 - 1 - 33 = 0$ )

問 27 次の外積を求めよ。

- (1)  $(3, 2, -1) \times (-2, 1, 5)$  (2)  $(5, 0, -2) \times (3, -1, 0)$  (3)  $(1, -1, 2) \times (3, -3, 6)$

- 外積の性質:

1.  $\mathbf{a} \times \mathbf{a} = \mathbf{0}$
2.  $\mathbf{b} \times \mathbf{a} = -\mathbf{a} \times \mathbf{b}$
3.  $\mathbf{a} \times (\mathbf{b} + \mathbf{c}) = \mathbf{a} \times \mathbf{b} + \mathbf{a} \times \mathbf{c}$ ,  $(\mathbf{a} + \mathbf{b}) \times \mathbf{c} = \mathbf{a} \times \mathbf{c} + \mathbf{b} \times \mathbf{c}$
4.  $(k\mathbf{a}) \times \mathbf{b} = k(\mathbf{a} \times \mathbf{b})$ ,  $\mathbf{a} \times (k\mathbf{b}) = k(\mathbf{a} \times \mathbf{b})$
5.  $\mathbf{a} \neq \mathbf{0}, \mathbf{b} \neq \mathbf{0}$  のとき、 $\mathbf{a} \parallel \mathbf{b} \iff \mathbf{a} \times \mathbf{b} = \mathbf{0}$

- 注意: 外積は結合法則は成り立たない。すなわち、 $(\mathbf{a} \times \mathbf{b}) \times \mathbf{c}$  と  $\mathbf{a} \times (\mathbf{b} \times \mathbf{c})$  は等しくない。

例:  $(\mathbf{e}_1 \times \mathbf{e}_2) \times \mathbf{e}_2 = -\mathbf{e}_1$ ,  $\mathbf{e}_1 \times (\mathbf{e}_2 \times \mathbf{e}_2) = \mathbf{0}$

- 外積の応用

- 展開:

$$\begin{aligned} (p\mathbf{a} + q\mathbf{b}) \times (r\mathbf{a} + s\mathbf{b}) &= pr(\mathbf{a} \times \mathbf{a}) + ps(\mathbf{a} \times \mathbf{b}) + qr(\mathbf{b} \times \mathbf{a}) + qs(\mathbf{b} \times \mathbf{b}) \\ &= (ps - qr)(\mathbf{a} \times \mathbf{b}) \end{aligned}$$

- 大きさ:  $|\mathbf{a} \times \mathbf{b}| = |\mathbf{a}| |\mathbf{b}| \sin \theta$

- $\mathbf{a}$  と  $\mathbf{b}$  が作る三角形の面積 =  $\frac{1}{2} |\mathbf{a} \times \mathbf{b}|$

- $(\mathbf{a} \times \mathbf{b}) \cdot \mathbf{c} = \mathbf{a}, \mathbf{b}, \mathbf{c}$  の三重積 =  $(\mathbf{a}, \mathbf{b}, \mathbf{c}$  が作る平行六面体の体積)  $\times (\pm 1)$

- 磁束密度  $\mathbf{B}$  の磁界の中で流れる電流  $I$  の流れる方向が  $\mathbf{n}$  (=単位ベクトル) であるとき、その長さ  $\ell$  の導線には力  $\mathbf{F} = ((I\mathbf{n}) \times \mathbf{B})\ell$  が働く (フレミングの法則)

問 28  $\mathbf{a} = (-4, 1, 2)$ ,  $\mathbf{b} = (1, 0, -3)$  に対し、次のものを求めよ。

- (1)  $\mathbf{a}$  と  $\mathbf{b}$  が作る平行四辺形の面積  $S$  (2)  $\mathbf{a}$  と  $\mathbf{b}$  に垂直な単位ベクトル  $\mathbf{n}$

問 29  $\mathbf{a} \times \mathbf{b} = (3, 1, -4)$  のとき、次のものを求めよ。

- (1)  $(2\mathbf{a}) \times (3\mathbf{b})$  (2)  $(\mathbf{a} + \mathbf{b}) \times (2\mathbf{a} - \mathbf{b})$  (3)  $(\mathbf{a} + \mathbf{b})$  と  $(2\mathbf{a} - \mathbf{b})$  が作る三角形の面積

問 30  $\mathbf{a} = (1, -1, 3)$ ,  $\mathbf{b} = (2, 3, 5)$ ,  $\mathbf{c} = (-1, 1, 0)$  に対し、

- (1)  $\mathbf{a} \times \mathbf{b}$  を求めよ。 (2)  $\mathbf{b} \times \mathbf{c}$  を求めよ。 (3)  $(\mathbf{a} \times \mathbf{b}) \cdot \mathbf{c}$  と  $(\mathbf{b} \times \mathbf{c}) \cdot \mathbf{a}$  が等しいことを示せ。

問 31 問 20 を、 $\mathbf{a} \times \mathbf{b}$  を計算することで解け (ヒント:  $\mathbf{a} \times \mathbf{b}$  と  $\mathbf{c}$  は平行)。

• 内積と外積の比較

| 項目      | 内積   | 外積   |
|---------|--|--|
| 記号      | $\mathbf{a} \cdot \mathbf{b}$                                      | $\mathbf{a} \times \mathbf{b}$   |
| 値       | スカラー値  | ベクトル値  |
| 交換法則    | $\mathbf{a} \cdot \mathbf{b} = \mathbf{b} \cdot \mathbf{a}$        | $\mathbf{a} \times \mathbf{b} = -\mathbf{b} \times \mathbf{a}$                   |
| 分配法則    | 成立   | 成立   |
| 同じものの積  | $\mathbf{a} \cdot \mathbf{a} =  \mathbf{a} ^2$                     | $\mathbf{a} \times \mathbf{a} = \mathbf{0}$                                      |
| ゼロになるとき | $\mathbf{a} \cdot \mathbf{b} = 0 \iff \mathbf{a} \perp \mathbf{b}$ | $\mathbf{a} \times \mathbf{b} = \mathbf{0} \iff \mathbf{a} \parallel \mathbf{b}$ |
| 次元      | 2 次元、3 次元  | 3 次元のみ   |

問 32  $\mathbf{a} = (1, 3, -4)$ ,  $\mathbf{b} = (2, -1, 5)$ ,  $\mathbf{c} = (1, 1, -1)$  に対して、次の記述、計算式の誤りを指摘せよ。

- (1)  $\mathbf{a} \times \mathbf{b} = 2 - 3 - 20 = -21$ ,  $\mathbf{a} \cdot \mathbf{b} = (2, -3, -20)$
- (2)  $\mathbf{a}$ ,  $\mathbf{b}$  が作る平行四辺形の面積  $S_1$  は、  
 $S_1 = (11, -13, -7) = \sqrt{11^2 + 13^2 + 7^2} = \sqrt{339}$
- (3)  $(3\mathbf{c}) \times (2\mathbf{a}) = 6(\mathbf{a} \times \mathbf{c}) = (6, -18, -12)$
- (4)  $\mathbf{a}$ ,  $\mathbf{c}$  が作る平行四辺形の面積  $S_2$  は、 $|\mathbf{a}| = \sqrt{26}$ ,  $|\mathbf{c}| = \sqrt{3}$  より  
 $S_2 = |\mathbf{a}| \times |\mathbf{c}| = \sqrt{78}$

## 問の略解

- 問 1 (1)  $\overrightarrow{EF}, \overrightarrow{DO}, \overrightarrow{CB}, \overrightarrow{OA}$  ( $\overrightarrow{OA}$  自身も  $\overrightarrow{OA}$  に等しい)  
 (2)  $\overrightarrow{FO}, \overrightarrow{OC}, \overrightarrow{ED}, \overrightarrow{AB}$  ( $\overrightarrow{AB}$  自身も  $\overrightarrow{AB}$  に等しい)

- 問 2 (1) 2, (2)  $2\sqrt{3}$ , (3) 4

- 問 3 (1) 図は略 (右に 4、上に 1 上がったベクトル),  
 (2) 図は略 (右に 3、上に 4 上がったベクトル),  
 (3) 図は略 (左に 1、上に 1 上がったベクトル)

- 問 4 左辺  $= (\overrightarrow{AB} + \overrightarrow{BC}) + \overrightarrow{CA} = \overrightarrow{AC} + \overrightarrow{CA} = \overrightarrow{AA} = \mathbf{0}$

- 問 5 略

- 問 6 (1) 図は略 (左に 2、上に 3 上がったベクトル),  
 (2) 図は略 (右に 1、下に 2 下がったベクトル),  
 (3) 図は略 (右に 5、下に 5 下がったベクトル)

- 問 7  $15\mathbf{a} + 2\mathbf{b}$

- 問 8 (1) 図は略 (左に  $1/2$ 、上に  $4/3$  上がったベクトル),  
 (2) 図は略 (右に  $2/3$ 、下に  $1/2$  下がったベクトル),  
 (3) 図は略 (右に 2、下に 2 下がったベクトル)

- 問 9 (1)  $\overrightarrow{AO} = \mathbf{a} + \mathbf{b}$ , (2)  $\overrightarrow{AC} = 2\mathbf{a} + \mathbf{b}$ , (3)  $\overrightarrow{BD} = \mathbf{a} + 2\mathbf{b}$

- 問 10 略

- 問 11 (1)  $\mathbf{a} = (1, 2), \mathbf{b} = (3, -1)$ , (2)  $\mathbf{a} = (2, 1), \mathbf{b} = (1, 3)$ ,  
 (3)  $\mathbf{a} = (2, -2), \mathbf{b} = (-3, 3)$

- 問 12 (1)  $\overrightarrow{AB} = (3, 2)$ , (2)  $3\overrightarrow{BA} = (-9, -6)$ , (3)  $|-5\overrightarrow{AB}| = 5\sqrt{13}$

- 問 13 (1) 与式  $= (-6, -14, 24)$ , (2) 与式  $= 7\mathbf{a} - 5\mathbf{b} = (21, 22, -39)$ ,  
 (3) 与式  $= 2\sqrt{15}$

- 問 14 (1)  $\mathbf{c} = \mathbf{a} + \mathbf{b}$ , (2)  $\mathbf{d} = \frac{12}{7}\mathbf{a} + \frac{4}{7}\mathbf{b}$

- 問 15  $D(-8, -2, 5)$

- 問 16 (1)  $x = -9/2$ , (2)  $\mathbf{c} = \left(\frac{4}{5}, \frac{3}{5}\right)$

- 問 17 (1)  $\overrightarrow{AB} \cdot \overrightarrow{AD} = 4$ , (2)  $\overrightarrow{AB} \cdot \overrightarrow{AF} = -2$ , (2)  $\overrightarrow{AB} \cdot \overrightarrow{AC} = 6$

- 問 18 (1)  $\mathbf{a} \cdot \mathbf{b} = -15$ , (2)  $\mathbf{b} \cdot (-3\mathbf{b}) = -63$ , (3) 与式  $= -19$

- 問 19  $\cos \theta = \frac{14}{\sqrt{231}}$

- 問 20  $\mathbf{c} = (2, -2, -2)$

- 問 21  $|\mathbf{a} - 2\mathbf{b}| = \sqrt{89}$

- 問 22  $W = \frac{75}{2}\sqrt{2}[\text{Nm}] = 53 [\text{Nm}]$

- 問 23  $3x + y - 2z + 5 = 0$

- 問 24  $3x - 2y - z + 5 = 0$

- 問 25  $\frac{5}{\sqrt{14}}$

- 問 26 (1)  $2\mathbf{e}_3$ , (2)  $-\mathbf{e}_3$

- 問 27 (1)  $(11, -13, 7)$ , (2)  $(-2, -6, -5)$ , (3)  $(0, 0, 0)$

問 28 (1)  $S = \sqrt{110}$ , (2)  $\mathbf{n} = \left( \pm \frac{3}{\sqrt{110}}, \pm \frac{10}{\sqrt{110}}, \pm \frac{1}{\sqrt{110}} \right)$

問 29 (1)  $(18, 6, -24)$ , (2)  $(-9, -3, 12)$ , (3)  $\frac{3}{2}\sqrt{26}$

問 30 (1)  $\mathbf{a} \times \mathbf{b} = (-14, 1, 5)$ , (2)  $\mathbf{b} \times \mathbf{c} = (-5, -5, 5)$ , (3) 略 (15)

問 31 略

問 32 (1)  $\mathbf{a} \times \mathbf{b}$  の右辺は  $\mathbf{a} \cdot \mathbf{b}$  の計算になっている、 $\mathbf{a} \cdot \mathbf{b}$  の右辺はベクトルではなく  $2 - 3 - 20$ 。

(2)  $S_1 = (11, -13, -7)$  が間違い、正しくは  $S_1 = |(11, -13, -7)|$ 。

(3) 正しくは、 $(3\mathbf{c}) \times (2\mathbf{a}) = 6(\mathbf{c} \times \mathbf{a}) = (-6, 18, 12)$ 。

(4)  $S_2 = |\mathbf{a}| \times |\mathbf{c}|$  となるのは、平行四辺形が長方形のときだけ。これは長方形ではないので、 $S_2 = |\mathbf{a} \times \mathbf{c}| = |(1, -3, -2)| = \sqrt{14}$ 。